

日本海藻協会ニュース

2013 年第 1 回 日本海藻協会理事会 2013 年 1 月 24 日議事録

2012 年度第 2 回理事会議事録

2012 年 8 月 7 月 10 日 東京海洋大学 出席者：鈴木，岩元，竹中，藤田

秋季シンポジウムの講演内容を議論し，ヨードやヒ素の問題を扱うことにした。講師については藤田に一任された。実施済

2012 年度行事報告

- ・視察旅行：伊豆大島（6 月 9－10 日），会誌 26 号で報告済。
- ・シンポジウム：海藻に含まれるヨウ素やヒ素の健康への影響（10 月 12 日）
- ・北海道大学企画展示への協力（実施済）
- ・会報発行：26 号，27 号（要旨集）28 号・編集中（*）。
- *6 月と 10 月（シンポ要旨集）の後，12 月では刊行間隔が狭いため 2 月に変更。
- ・e-news35（7 月），e-news36（8 月），e-news37（10 月），e-news38（手違いのため，今 e-news39 と同時に送信）。

議題 1. 本年度事業の確認

① 国際海藻シンポジウム

展示ブースは使用料高額・メリット減少（模倣阻止）のためブース借用・出展は見合わせることにした。

② 協会視察旅行

アンケート結果（e-news39）も踏まえ，震災後の風評払拭のために三陸視察で調整。次点候補としては，鳴門ワカメ＋吉野川アオノリ，大分ヒジキ＋クロメ，宮古島など。

③ 協会シンポジウム（10 月第 2 週金曜）アンケート結果も踏まえ学会館を予定。

三陸を含めた食の安心安全に向けた取り組みなどを中心に検討。

④ ホームページ・e-news メーカーには新製品情報をお願いします。

⑤ ニュースレター(会報)の発行と会員への配布 読者の拡大に尽力する。

⑥ 他団体等主催の学会，シンポジウム，講演会等に対する助成あるいは支援 要請があれば随時対応する。

⑦ **その他、理事会で必要と認められた事業**

有用海藻図鑑（輸入関連業者などにアンケートなどを実施）、海藻手帳 検討継続。

議題2. 会員の確認と拡大、会報の配布・投稿促進など

多くの方々に会報を読んでもらうべく、継続的な努力を行う。今後は、海洋大（正会員）の図書館に納められるほか、国立国会図書館資料保存課、科学技術振興機構にも送付されるので、複写依頼はそちらで行ってもらうことにした。

議題3. 海外企業との交流その他

執筆依頼・執筆誌の送付などを通じて会員外からも情報を積極的に取り入れる。

以上、2013年1月24日 藤田大介 編集